

熱遮断と耐久保護を兼ねた

セブンヒートバリア

## 施工要領書

2020年9月改訂版



**Seven Chemical**  
**株式会社 セブンケミカル**

## 下地処理

### □下地適用範囲

コンクリート打ち放し仕上げ、モルタル塗り仕上げ、金属パネル等の各外壁面

### □下地調整

- ① 下地表面に、塵埃、セメントノロ粉、エフロレッセンス、型枠剥離剤の残存物などが付着している、または下地金属面に浮き錆等が発生している場合は、ワイヤーブラシ、サンダー、シンナーなどで除去清掃してください。
- ② 下地の不陸、目違い、突起(でっぱり、すじ、波打ち)、豆板、気泡穴などがある場合は、はつり、サンディング後、不陸調整が3mm以上10mmまでは下地調整材CM-2、1mm～2mmの場合C-2、1mm以下の場合にはC-1モルタルで許容できる範囲に調整してください。
- ③ 下地のひび割れ幅が0.2mm～2.0mm未満の場合、ひび割れ筋をまたぎ左右25mm程度の幅で端部から延長50mm以上をスーパーセブン 0.5kg/m<sup>2</sup>以上を段差の無いように塗り付けてください。
- ④ ③を越えるひび割れ部は、樹脂注入、Uカットシール、シール工法により補修してください。欠損部周辺の脆弱部分は除去しワイヤーブラシなどでケレン清掃し発錆があれば防錆処理を行ってください。また、部分的に露出している鉄筋、アンカー金物などがある場合、監督職員と協議し、健全部が露出するまでコンクリートをはつり、ワイヤーブラシ等でケレンを行い錆を除去し防錆剤を塗付け処理してください。
- ⑤ テストハンマー等により、剥落のおそれの有る浮きについて確認し、アンカーピン、充填工法で行ってください。
- ⑥ 増塗りを行う部位は、プレキャストコンクリート、ALC版、などの継手目地、建具回り、貫通部回りなどの防水上重要な部位、出隅、入隅、目地部などの膜厚の薄くなり易い部位、開口部回りなどのひび割れが発生し易い部位、下地の動きが激しい部位としてください。
- ⑦ リシン吹付面下地では、骨材の粗面が目立たない程度にケレンするか、下塗後、セブンウォール主材を捨て塗りし平滑にしてください。
- ⑧ モルタル仕上げの場合は、木ゴテまたは、金ゴテ仕上げでおこないます。
- ⑨ シーリング材は、JIS A 5758(建築用シーリング材)より選定してください。シーリング面に仕上げ塗材を塗る場合、シーリングが硬化した後、塗り重ね適合性に合った必要な処理を行ってください。
- ⑩ 改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることを発見した場合は、協議してください。
- ⑪ 下地は十分に高圧洗浄(15MPa/mm<sup>2</sup>以上)し、表面に塵埃、付着異物、カビ、藻等が残らぬよう十分に除去し下地を乾燥させてください。

## セブンヒートバリア施工工程

工程	使用材料	希釈 (重量比%)	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗り 回数	工程間隔(時 間)	使用器具	
1 (選択)	窯業建材	セブンヒートバリア シーラー	無希釈	0.1 ~0.15	1	5以上	中毛ローラー
	金属面	セブンマイルド プライマー	塗料用 シンナー (0~5)	0.12 ~0.16	1	24以上	中毛ローラー
2	上塗り	セブンヒートバリア	水道水 (0~5)	0.3 ~0.35	1	3以上	中毛ローラー スプレー、刷毛な ど
3	上塗り	セブンヒートバリア	水道水 (0~5)	0.3 ~0.35	1	24以上 (最終養生)	中毛ローラー スプレー、刷毛な ど

## セブンヒートバリア施工要領

### □下塗り

#### 窯業建材面

下地の吸い込みムラを防止し、下地と主材との接着をより強固にするために、セブンヒートバリアシーラーをウールローラー、エアレススプレー、刷毛などを使用し無希釈で0.12~0.16kg/m<sup>2</sup>を均一にムラなく塗り付けてください。

#### 金属面

セブンマイルドプライマーは0~5%(重量比)塗料用シンナーで希釈し、よく混合攪拌した後、ムラなく均一に0.12~0.16kg/m<sup>2</sup>以上を塗り付け仕上げてください。

3時間以上乾燥させます。

### □上塗り

セブンヒートバリアの材料を十分攪拌して均一に混ぜます。

ローラー/エアレススプレー等で1回目は0.3~0.35kg/m<sup>2</sup>均一にムラなく塗り付けます。

2時間以上乾燥後、2回目のセブンヒートバリアを0.3~0.35kg/m<sup>2</sup>、1回目同様に塗り付けて仕上げます。

## 注 意 事 項

### □施工上の注意事項

- ① 使用材料の配合、希釈量、可使時間をあらかじめ確認してください。
- ② 施工中に降雨及び降雪にさらされないようにしてください。
- ③ 降雨、多湿などにより結露のおそれの有る場合、又は強風時には、原則として行わない。
- ④ 5℃以下の場合、施工を行わない。高温(気温 35℃以上、躯体温度 30℃以上)、及び湿度 80%RH以上の場合、塗膜乾燥、ローラー作業性及び仕上げ性に支障をきたす場合がありますので十分注意してください。
- ⑤ 近接する他の部材や建物を汚損しないように、ビニル張り、板囲い、シート掛けなどの適切な養生を行ってください。
- ⑥ 居室等内装で使用する場合や、溶剤を取り扱う場合には通気換気を十分に行ってください。
- ⑦ 下塗り材、上塗り材に溶剤系塗料を使う場合、施工時には保護具などを着用し、溶剤による中毒を起こさないよう十分注意してください。
- ⑧ 各施工工程において、気温の低下や湿度の上昇により乾燥硬化が遅れることが有るので換気も重要です。
- ⑨ シーリング面に塗装を行う場合は、シーリング材が硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。
- ⑩ 養生テープを外す場合、端部をナイフカットし剥がしてください。
- ⑪ 所要量などの確認方法は、単位面積当たりの使用量によることを標準としてください。

### 2. 保管上の注意事項

- ① 風雨、直射日光を避け、常温保管を心掛ける。
- ② 水性材料の保管は0℃以上の場所で保管する。
- ③ 施工前にSDSを確認ください。

### 使用材料一覧表

製品名	入目	荷姿
セブンヒートバリアシーラー	15kg	石油缶
セブンマイルドプライマー	16kg	石油缶
セブンヒートバリア	12kg	石油缶



東京都新宿区西新宿 7-8-13 栗原ビル 3 階  
TEL 03(3366)2616 FAX 03(3366)2619

e-mail kimura@seven-chemical.co.jp

e-mail kitajima@seven-chemical.co.jp